

『高校生ICTカンファレンス 2015 in 石川』を北陸管内で初めて開催



挨拶する星局長

北陸総合通信局（局長 星 克明）は、平成27年9月13日（日）、金沢商工会議所において、高校生ICT Conference実行委員会（委員長 米田 謙三（よねだ けんぞう）大阪私学教育情報化研究会副会長）及び高校生ICT Conference2015 in 石川実行委員会（委員長 村井 万寿夫（むらい ますお）金沢星稜大学教授）との共催により「高校生ICTカンファレンス2015 in 石川」を開催し、石川県内の高校13校から生徒34名の参加がありました。



総合司会の米田委員長

冒頭、星局長が「青少年のインターネット利用を巡るトラブルや被害等は、年々増加しており「ネット依存」や「ネットいじめ」をはじめ、コミュニケーションサイト利用による事件や被害まで発生しており、深刻な社会的な問題になっている。ネット上のトラブルや被害等は他人ごとでなく、県内でも高校生による不適切画像の投稿が増加し、情報モラルが低下していることを危険なことだと心配している。一方で、インターネットは有益で楽しく、未来を生きる皆さんにはスマホなどを使いこなすことが重要であり、ネットの危険を理解した上でマナーを守って利用することが必要である。今日は、県内から13校の高校生が集い、「大人が作った子どものルール&マナーを考える」をテーマに熟議を重ね、皆さん一人一人が考えていただきたい。」と挨拶しました。次に、内閣府から清水 泰貴 氏（政策統括官（共生社会政策担当）付 参事官補佐）が挨拶されました。

米田委員長の司会により開始され、第一部では、水谷 哲也 氏（KDDI（株）渉外部）が「KDDIの安全・安心への取り組み ～KDDIケータイ教室～」と題して、谷村 紗愛 氏（北陸携帯電話販売店協会）が「スマホ・ケータイのルールを考えよう」と題して、青少年のネット利用における現状と課題などについて講演されました。



講評する村井委員長

第二部では、高校生による熟議として、参加者を6グループに編成した上で、金沢星稜大学の学生をファシリテーターとして配置し、それぞれのグループにおいて熱心な議論と取りまとめが行われました。その後のグループ発表では、アイデアを凝らした若者らしい発想で、1班は「スマホ免許」、2班は「子供のネットトラブルと解決策」、3班は「サイバープロテクト強化法」、4班は「考察」、5班は「親子の負の循環」、6班は「自分たちのネット社会について」と題して、柔軟でユニークな意見や提言などが発表されました。

また、来る11月3日（火）、東京において「高校生ICT Conference 2015 サミット」が開催されますが、その代表校選出では、厳正な選考の結果、石川県立七尾高等学校が13校の代表として決定されました。

最後に、石川実行委員会の村井委員長が「今朝、集合した時は他人同士の高校生たちが、熟議の中で打ち解け合い、各班とも活発な議論を重ねて特徴のある意見を発表している。どの班も優劣をつけがたいが、僅差で石川県立七尾高等学校が代表校に選出された。来年も石川県で開催するので、このような活動を友人や他の学校にも広げていただくことをお願いしたい。」と講評し、高校生ICTカンファレンスを締めくくりました。



講演に聴き入る高校生



討議中の高校生グループA・B



お問い合わせ先：情報通信部電気通信事業課
電話 076-233-4422